

府中市障害者計画・府中市障害児福祉計画策定のための調査 (子どもの育ちや発達に関する調査)

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和3年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの18歳未満の身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費受給者証、障害児通所給付費受給者証をお持ちの方の中から、1,000名を無作為に選ばせていただき、保護者の方にご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年10月 府中市

記入についてのお願い

1. **封筒のあて名のお子さん**について、**保護者の方**がご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「お子さん」とは、封筒のあて名の方を指します。保護者の方の回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただき、記入してください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください
の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

●月●日（●）までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545

おしらせ

この調査の結果については、令和2年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所障害者福祉課窓口等に設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画 までのスケジュール

府中市障害者計画^{※1}・府中市障害福祉計画^{※2}・府中市障害児福祉計画^{※3}は、この調査結果等を基礎資料とし、市民、学識経験者、障害者福祉団体等から構成された「府中市障害者計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

※1：障害者のための施策全般に関する基本的な考え方や方向性を定める6年間の計画

※2：障害福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

※3：障害児福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

令和2年3月 この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。

令和2年4月頃 調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。

令和2年秋頃 計画についてパブリックコメントを実施します。

ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。

令和3年3月 第4期府中市障害者計画・第6期府中市障害福祉・第2期府中市障害児福祉計画を策定します。

なお、現計画（第3期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画（第5期）・障害児福祉計画（第1期））は、前回の皆様にご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所障害者福祉課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

◆府中市障害者計画

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野
⇒ 府中市福祉計画 ⇒ 障害者計画・障害福祉計画（第4期）

◆府中市障害福祉計画（第5期）・府中市障害児福祉計画（第1期）

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野
⇒ 府中市障害福祉計画・障害児福祉計画

F 5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。身体障害者手帳に記載された項目は次のどれですか。(いくつでも○)

1. 視覚障害
2. 聴覚障害
3. 音声・言語・そしゃく・平衡機能障害
4. 肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害)
5. 内部障害(心臓・肝臓・腎臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸・免疫機能の障害)

F 6 主な障害・難病が生じたのは、いつごろですか。(1つに○)

1. 出生時(出生前を含む)
2. 乳幼児期(0～5歳)
3. 学齢期(小学校入学～中学校卒業)
4. 中学校卒業後～17歳ころ
5. わからない

F 7 お子さんと同居*している方はどなたですか。(いくつでも○)

* 2世帯住宅は同居としてお答えください。

* お子さんの父母の親族を含めてお答えください。

1. 母親
2. 父親
3. 祖父、祖母
4. 兄弟、姉妹
5. 親族
6. その他〔具体的に： _____ 〕

お子さんの通園・通学の状況についておたずねします

問1 お子さんは現在、保育所・幼稚園や学校などに通園・通学していますか。

(1つに○)

1. 通園・通学している →問1-1、1-2にお答えください
2. 通園・通学していない →問2へ進む

問1-1 問1で「1. 通園・通学している」と答えた方におたずねします。

お子さんが現在、通園・通学しているのはどこですか。(いくつでも○)

1. 保育園
2. 幼稚園
3. 公立小学校(通常の学級に在籍)
4. 公立小学校(通級指導学級・特別支援教室も利用)
5. 公立小学校(特別支援学級に在籍)
6. 特別支援学校小学部
7. 私立小学校
8. 公立中学校(通常の学級に在籍)
9. 公立中学校(通級指導学級も利用)
10. 公立中学校(特別支援学級に在籍)
11. 特別支援学校中学部
12. 私立中学校
13. 高等学校
14. 特別支援学校高等部
15. その他〔具体的に: _____〕

問1-2 問1で「1. 通園・通学している」と答えた方におたずねします。

お子さんの通園・通学で、困っていることはありますか。(1つに○)

1. 通わせたい園・学校に空きがない
2. 通園・通学の送迎が大変
3. 通っている園・学校の対応が十分ではない
4. 通っている園・学校が子どもに適しているのかわからない
5. その他〔具体的に: _____〕
6. 特にない

問2 お子さんは現在、次の支援施設に通所していますか。(いくつでも○)

1. 子ども発達支援センターあゆの子
2. 民間の児童発達支援事業所
3. 民間の放課後等デイサービス事業所
4. 医療型児童発達支援施設
5. その他〔具体的に: _____〕

日常生活についておたずねします

問3 お子さんは、日常生活において障害があるために何らかの介助を受けていますか。
(1つに○)

1. 受けている →問3-1、3-2、3-3にお答えください
2. 受けていない →問4へ進む

問3-1 問3で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

(1) 介助を頼めるのはどなたですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 1. 母親 | 5. 近所の人 |
| 2. 父親 | 6. ボランティア |
| 3. 祖母 | 7. 公的なサービス(福祉サービス) |
| 4. 祖父 | 8. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕 |

(2) 主な介助者はどなたですか。

((1)の選択肢から1つだけ の中に記入してください)

主な介助者

問3-2 問3で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは公的なサービス(例：居宅介護・移動支援)による介助を
1週間のうち何日ぐらい受けていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 4. 週に1日 |
| 2. 週に4～6日 | 5. 受けていない |
| 3. 週に2～3日 | |

問3-3 問3で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは家族・親族・ボランティア(公的なサービスを除く)の介助
を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 4. 週に1日 |
| 2. 週に4～6日 | 5. 受けていない |
| 3. 週に2～3日 | |

福祉サービスの利用についておたずねします

問4 福祉サービスの利用状況・利用意向について、おたずねします。

(1)～(14)のそれぞれについて、「1」～「6」にいくつでも○をつけてください。

	利用している				今後、利用したい	利用していない
	利用できている	希望通りに支給量が少ない	空きがない	事業所に利用できない		
(例)	1	②	3	④	5	6
居宅介護（ホームヘルプ）						
(1) 自宅で、食事・排せつ・入浴の介護など、日常生活上の支援を行うサービス	1	2	3	4	5	6
同行援護						
(2) 視覚障害により、移動に著しい困難を有する障害のある人の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護などを提供するサービス	1	2	3	4	5	6
行動援護						
(3) 知的障害・精神障害により行動に著しい困難のある人に、行動の際の危険回避、その他の支援を行うサービス	1	2	3	4	5	6
短期入所（ショートステイ）						
(4) 自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、食事・排せつ・入浴の介護などを提供するサービス	1	2	3	4	5	6
児童発達支援						
(5) 障害のある児童（療育の必要な児童）に日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行うサービス	1	2	3	4	5	6
医療型児童発達支援						
(6) 障害のある児童（療育の必要な児童）に日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行うとともに治療を提供するサービス	1	2	3	4	5	6
放課後等デイサービス						
(7) 就学児に学校授業終了後や休業日に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進など多様なメニューを提供するサービス	1	2	3	4	5	6
保育所等訪問支援						
(8) 障害児施設で指導経験のある児童指導員や保育士が、保育所などを2週間に1回程度訪問し、障害児や保育所などのスタッフに対し、障害児が集団生活に適応するための専門的な支援を行うサービス	1	2	3	4	5	6

次ページの(10)～(14)にもお答えください

	利用している				今後、利用したい	利用していない
	利用できている	希望通りに支給量が少ない	空きがない	緊急時に利用できない		
(9) 居宅訪問型児童発達支援 重度の障害等により外出が困難な障害児に対し、居宅において児童発達支援を行うサービス	1	2	3	4	5	6
(10) 障害児相談支援 障害児通所支援を利用する前に障害児支援利用計画を作成し、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う等のサービス	1	2	3	4	5	6
(11) 移動支援 ガイドヘルパーを派遣する事業で、同行し、移動の手助けや交通機関の利用の補助などの外出をサポートするサービス	1	2	3	4	5	6
(12) 日中一時支援 障害のある人の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図る事業	1	2	3	4	5	6
(13) 意思疎通支援 手話通訳者、要約筆記者の派遣を行うサービス	1	2	3	4	5	6
(14) 補装具費の支給・日常生活用具費の給付 義足や車いすなどの補装具、日常生活用具の費用を支給・給付するサービス	1	2	3	4	5	6

問4-1は(1)～(14)で1つでも「1」～「4」と答えた方におたずねします。すべて「5」または「6」と答えた方は問5へお進みください。

問4-1 問4の(1)～(14)で1つでも「1」～「4」と答えた方におたずねします。福祉サービスについて、満足していますか。(1つに〇)

1. 満足
2. やや満足 } →問5へ進む

3. やや不満
4. 不満 } →問4-2にお答えください

問4-2 問4-1で「3」「4」と答えた方におたずねします。福祉サービスの不満な理由は次どれですか。(いくつでも〇)

1. 相談先が少ない
2. 希望する事業者や施設が見つからない
3. 費用負担が大きい
4. 利用方法が分かりにくい
5. サービス内容が分かりにくい
6. サービスの情報が入手しにくい
7. その他〔具体的に: _____〕
8. 特にない

お子さんの育ちや発達についておたずねします

問5 お子さんの育ちや発達について、気になったことはありますか。その時期についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 0歳～3歳未満 | 4. 中学校〔 〕年生 |
| 2. 3歳～就学前 | 5. 高等学校〔 〕年生 |
| 3. 小学校〔 〕年生 | 6. 気になったことはない |

問6 お子さんの育ちや発達について、次の人・相談機関等に相談したことはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 配偶者 | 11. 子ども発達支援センター あゆの子 |
| 2. 祖父母・兄弟等の親族 | 12. 児童相談所 |
| 3. 友人や知人 | 13. 東京都立の療育機関 |
| 4. 保育園・幼稚園・学校 | 14. 医療機関(療育機関除く) |
| 5. 民生・児童委員 | 15. 地域生活支援センター |
| 6. 児童館 | 16. その他の療育・相談機関 |
| 7. 子ども家庭支援センター | 〔具体的に：〕 |
| 8. 保健所 | |
| 9. 保健センター | 17. どこにも相談していない →問7へ進む |
| 10. 教育センター | |

問6-1 問6で「1」～「16」のいずれかを選んだ方におたずねします。
相談をしたことで、どのような効果がありましたか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 話を聞いてもらって気持ちが楽になった | |
| 2. 具体的な対応方法を考えることができた | |
| 3. 適切な相談機関・医療機関を紹介してもらった | |
| 4. 家族で子どものことについて話し合う時間が増えた | |
| 5. 支援を受けて子どもが成長した | |
| 6. さまざまな情報をもらい、子育ての役に立った | |
| 7. 同じ悩みを持つ保護者と知り合い、共感することができた | |
| 8. その他〔具体的に： | 〕 |
| 9. 特に変化はない | |

問6-2 問6で「1」～「16」のいずれかを選んだ方におたずねします。
相談を通して、お子さんは発達障害に関する診断を受けましたか。
(1つに○)

1. 発達障害に関する診断を受けた
2. 診断を受けていない

問7 あなた（記入者）は、お子さんの育ちや発達への切れ目のない支援としてどのようなことを希望されますか。（いくつでも○）

1. 乳幼児期から一貫して相談・支援を受け続けられること
2. 入学・進学などのタイミングでお子さんへの支援情報が途切れないこと
3. 入学・進学などのタイミングに合わせて、関係する支援機関の紹介を受けられること
4. お子さんに関わる教育、保健、医療、福祉など関係機関の連携が強化されること
5. 不安なことなどがあったときに支援機関へとつないでくれる専門の職員がいること
6. 子どものライフステージに合わせた保護者支援が行われること
7. その他〔具体的に： 〕
8. わからない

問8 あなた（記入者）は、将来、お子さんにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。（1つに○）

1. 会社やお店などで働く（一般就労）
2. 地域の障害者施設（作業所など）で働く（福祉的就労）
3. その他〔具体的に： 〕
4. わからない
5. 働くことは困難だと思う

医療についておたずねします

問9 お子さんは、日常的に何らかの医療的ケアを必要としていますか。（1つに○）

1. 必要としている →問9-1、9-2にお答えください
2. 必要としていない →問10へ進む

問9-1 問9で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。
現在、どのような医療的ケアを実施していますか。（いくつでも○）

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1. 人工呼吸器管理 | 8. 経管栄養
（経鼻・胃ろう・腸ろう・腸管栄養を含む） |
| 2. 気管内挿管、気管切開 | 9. 継続する透析（腹膜灌流を含む） |
| 3. 酸素吸入 | 10. 定期導尿 |
| 4. 経鼻咽頭エアウェイ管理 | 11. 人工肛門 |
| 5. 痰などの吸引 | 12. 服薬管理 |
| 6. ネブライザー | 13. その他〔具体的に： 〕 |
| 7. 中心静脈栄養 | |

問9-2 問9で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。

医療的ケアの実施にあたって、困りごとはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 在宅での医療的ケア実施がたいへん | 8. 身近に対応可能な医療機関がない |
| 2. 通院などの移動がたいへん | 9. 訪問看護ステーションがない |
| 3. 長時間の介助がたいへん | 10. 困った時の相談先がわからない |
| 4. 休日・夜間の介助がたいへん | 11. 医療的ケアに関する情報が少ない |
| 5. 医療的ケアの費用負担が大きい | 12. 家族への支援が少ない |
| 6. 通園・通学先の受け入れが難しい | 13. その他 |
| 7. 緊急時・急変時の対応が難しい | 〔具体的に： 〕 |

防災についておたずねします

問10 災害時に困ること・不安なことはなんですか。(いくつでも○)

1. 避難所まで避難できるか心配
2. 災害情報を伝えてもらう専用の連絡網がない
3. 人にうまく伝えることが苦手で、うまく支援を受けることができない
4. 避難を支援してくれる人がいない
5. 電話やファックス等がないので、情報が入ってこない
6. 障害のある人や子ども・高齢者等に配慮した避難所があるのかわからない
7. 大勢の人の中での避難所生活に不安がある
8. 医療を受けられるかわからない
9. その他〔具体的に： 〕

問11 災害時に備えて、ふだんからどのようなことを行っていますか。

(いくつでも○)

1. 防災グッズ(非常用食料、飲料水等)の準備
2. 家具の固定、ガラス拡散対策
3. 貴重品・常備薬等をすぐ持ち出せるよう準備
4. 避難場所・ルートの確認
5. 防災訓練への参加
6. 災害時要援護者登録の対象になる場合、その登録
7. 緊急連絡先や支援の方法を記載した防災手帳やカードの準備
8. 補聴器の電池など日常生活に必要な用具に係る消耗品の備蓄
9. 呼吸器等の電源確保のための非常用電源装置等の準備
10. 簡易筆談器などコミュニケーション支援のための道具の準備
11. 日ごろの近所づきあいや町内会・自治会活動など地域とのかかわりを深める
12. その他〔具体的に： 〕

問12 地震などの災害が発生したときに、避難所で配慮してほしいことはなんですか。
(いくつでも○)

1. 段差がない, 手すりのあるトイレなどの施設のバリアフリー
2. 文字や音声など複数の情報伝達手段があること
3. 手話などのコミュニケーション手段の確保(かくほ)
4. 個室, 間仕切り(パーテーション)などでの対応が可能であること
5. 相談窓口や介助スタッフがいること
6. アレルギー対応食や介護食, 離乳食などの確保(かくほ)
7. 医療や医薬品の確保
8. 配給などに並ぶことができない場合の支援
9. 他の避難者の障害への理解
10. その他〔具体的に: 〕
11. 特にない
12. わからない

問 13 災害に備えて、市民や企業等が行政と協働で取組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも○)

1. 地域住民同士の声かけや安否確認
2. 住民たちで行う防災組織の活動の充実
3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実
4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成
5. 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催
6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実
7. 地域内外の団体等との日ごろからの交流
8. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など
9. その他〔具体的に: 〕

問16 あなた（記入者）は、地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じますか
(1つに○)

1. とても感じる
2. まあ感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

施策についておたずねします

問17 市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度は、次のうちどれですか。
(1つに○)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 満足 | 3. やや不満 |
| 2. やや満足 | 4. 不満 |

問18 府中市は障害のある方や育ちや発達が気になるお子さんの施策について、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(重要なものに5つまで○)

1. 各種相談事業を充実すること
2. 障害のある人が住宅を確保しやすくなるよう図ること
3. 権利擁護事業や成年後見制度の取り組みの充実を図ること
4. 障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること
5. ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること
6. 利用できる通所施設を整備すること
7. 補装具・日常生活用具給付事業を充実すること
8. 外出時の移動支援サービスを充実すること
9. グループホームを充実すること
10. 視覚・聴覚などの障害に配慮した情報提供を充実すること
11. 障害のある人の自立生活をめざした取り組みが家庭・学校・地域で行われること
12. 障害のある人や子どもに対する暴力や差別をなくすこと
13. 障害のある人や子どもが受診しやすい医療体制を充実すること
14. 障害のある人や子どものための短期入所を充実すること
15. 精神状態の不安定に対する支援の充実
16. その他〔具体的に： 〕
17. わからない

問 19 府中市の障害のある方や育ちや発達が気になるお子さんの施策、地域で暮らし続けるために必要なこと等に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

14 ページ以降は、お子さんの保護者の方についての質問がございます。
続けてご回答ください。

お子さんを主に養育している保護者についておたずねします

問 20 お子さんの主に養育しているのはどなたですか。(1つに○)

1. 母親
2. 父親
3. その他〔具体的に： _____〕

問 21 主たる養育者の方の年齢を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 4. 30～34歳 | 7. 50～59歳 |
| 2. 20～24歳 | 5. 35～39歳 | 8. 60歳以上 |
| 3. 25～29歳 | 6. 40～49歳 | |

問 22 主たる養育者の方の就労状況等を教えてください(1つに○)

1. 自営業
2. 正規雇用(正社員など)
3. 非正規雇用(契約社員、嘱託社員、パート・アルバイトなど)
4. その他〔具体的に： _____〕
5. 働いていない

問 23 世帯の収入源と、年収についておたずねします。年収は、税金などを差し引く前の額でお答えください。年金、手当、生活保護費、親族からの援助もすべて含みます。

(1) 世帯の収入源(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 母親の仕事の収入 | 5. 生活保護費 |
| 2. 父親の仕事の収入 | 6. 親族からの援助 |
| 3. 各種手当 | 7. その他 |
| 4. 国民年金・厚生年金・障害基礎年金 | 〔具体的に： _____〕 |

(2) 世帯の年収(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 200万円未満 | 6. 600万円以上～700万円未満 |
| 2. 200万円以上～300万円未満 | 7. 700万円以上～800万円未満 |
| 3. 300万円以上～400万円未満 | 8. 800万円以上～900万円未満 |
| 4. 400万円以上～500万円未満 | 9. 900万円以上～1,000万円未満 |
| 5. 500万円以上～600万円未満 | 10. 1,000万円以上 |

問 27 育ちや発達が気になるお子さんに関して、養育の負担感やストレスを軽減させるために、主たる養育者の方が重要だと考えることは何ですか。次の項目の中から、重要だと考える順に、下記の欄に番号を記入してください。

(それぞれ番号を1つ記入)

1. 日中、一時的に子どもを預かってくれるサービス
2. 数日間、子どもを預かってくれるサービス
3. 子どもの世話のために、十分に手が回らない家事などへのサポート
4. 子どもを自宅や近所で介助してくれるサービス
5. 障害のある子の兄弟姉妹に対するサポート
6. 障害のある子を持つ者同士が交流し、情報交換などを行うこと
7. あなた自身が趣味、学習、就労など、社会的活動に参加すること
8. 子どもが将来、親の手を離れても生活できるという見通しを持つこと
9. あなた以外の家族の方が、もっと子どもの世話に参加してくれること
10. 子どもの世話のために生じる経済的な負担が軽減されること
11. 子どもの障害に対する正しい知識や、向きあい方を学ぶ機会を充実すること
12. 子どもについて何でも気軽に相談でき、適切なアドバイスをもらえる機関
13. 療育や教育の体制を充実すること
14. 学童クラブなど放課後活動を充実すること
15. 医療機関のサービス（通院、対応等）が充実すること
16. その他〔具体的に： _____ 〕

最も重要 (番号を1つ記入)	2番目に重要 (番号を1つ記入)	3番目に重要 (番号を1つ記入)

——ご協力ありがとうございました——